

生活者ネット こくぶんじ No.153 2022年1月

発行/国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者/田中由紀
連絡先/〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイソ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員
たかせ
高瀬かおる



国分寺市議会議員
こさか
小坂まさ代

学習会「国分寺の樹木と生きものとまちづくり」 駅前を武蔵野の森に！ (2021年11月3日)

～参加された方の感想を紹介します～

国分寺駅北口のリオンホールでの講演会では、再開発で出来た国分寺駅北口交通広場に「武蔵野の森を創る」というコンセプトのもと、どのように進めてきたかのお話を聞くことが出来ました。国分寺市の担当者から開発の経緯の説明があった後、植栽計画を指導した東京農工大学名誉教授の福嶋司先生から詳細な解説がありました。北口広場を「武蔵野台地の森」の「手入れされた状態」と「放置された状態」、「丘陵地の森」の「手入れされた状態」と「放置された状態」、そして、「国分寺市を代表する植物」のゾーンに分けて植栽しているとのことでした。その説明から、「武蔵野の森を創る」という先生の熱い思いが伝わってきました。

ホールでの講演の後、実際に交通広場に出て、見学しました。北口を出てすぐ右手にはシンボルツリーとして大きなケヤキが植えられています。普段、毎日のように通っている広場ですが、何が植えられているか、あまり気に留めていませんでした。先生のお話を伺って、四季折々の変化を見るのが楽しみになりました。5年10年と長いスパンで森を育てる計画です。その変化を見るのも楽しみです。(美しい用水の会 大野政智)



子ども自身の育つ力を信じられる社会へ

国分寺市プレイステーション(※)では、仕事体験や居場所の充実を目的に、東京都の補助金を利用し、駄菓子屋とカフェを開業することとなりました。2021年12月に開かれた「駄菓子屋子ども会議」では、100名近い参加があり駄菓子を試食しながら、お店の名前や働き方などについて、子どもたちによる生き生きとした話し合いが行われていました。

当事者としての子どもの意見を聞く姿勢は、とても重要です。ひとりの人として大切にされた経験は、おとなになっても人生を支えていく大きな力になっていきます。

子どもの権利を保障する 法制定が必要

1994年に国連の「子どもの権利条約」が日本で批准され、25年以上が経ちますが、未だその精神が実現されているとはいえません。国連子どもの権利委員会は日本に対して「子どもを、権利を持つ人間として尊重しない伝統的な見方が、子どもの意見に対する考慮を著しく制限している」と指摘し、「子どもの権利に関する包括的な法律」の制定などを強く求めています。

東京都では、生活者ネットワークが20余年にわたり取り組んできた、子どもの権

居住支援ひろば

「居住支援法人の取り組みについて知ろう」開催

2021年10月2日、3組の居住支援法人(※)を担っている団体の方からお話をお聞きしました。どの団体の方からも「居住支援法人の取り組みとして、住宅困難者の方に対し、どのように提供する体制を作れるか」を実際に対応した話を通して説明して頂きました。具体的には、物件探しをする際の不動産会社への働き掛けであったり、福祉サービスや行政サービスが必要な方への役所との交渉であったりと、住む場所の情報提供以外にも「生活すること自体」への支援・協力をしてくれるのが居住支援法人の取り組みの一つだと、という話を分かりやすくして下さいました。

その中でも「大家(住居を提供する側)の視点で交渉をしていく」という話が、とても印象的でした。居住を含めた、生活に困っている方の「権利」を守る為に、敢えて相手側の立場も考え、その上で生活者の想いを主張していく。こういったことを行い、生活者の「住まい」を守っていく為にも、改めて居住支援法人の重要性を知ることが出来ました。国分寺市内では、まだまだ「居住支援」の動きは下火ですが、この火を絶やさずに燃やし続けていきたい、と身の引き締まる機会となりました。

(居住支援を考える国分寺の会 毛塚和英)



※居住支援法人(住宅確保要配慮者居住支援法人):住宅確保要配慮者(低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子供を養育する者、その他住宅の確保に特に配慮を要する者)の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、家賃債務保証・住宅情報の提供・生活支援等を実施する。都道府県が指定する。

このレポートは、UDフォントを使用しています。

国分寺ネット活動日誌

- 10月2日(土):居住支援ひろば「居住支援法人の取り組みについて知ろう」参加
- 10月6日(水):新庁舎市民懇談会参加/衆議院議員選挙への超党派リレートーク参加
- 10月9日(土):学習会「アフターコロナのもうひとつの住まい方」参加
- 10月11日(月):朝遊説・西国分寺駅
- 10月12日(火):朝遊説・国立駅北口
- 10月14日(木):遊説・西国分寺駅
- 10月17日(日):遊説・国分寺駅北口
- 10月18日(月):オンライン市議会報告会開催
- 10月19日(火):市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 10月21日(木):環境カフェ「ドイツのゴミ対策」開催
- 10月22日(金):大久保奈弥さん講演会「サングの海が泣いています」視聴
- 10月25日(月):放射能測定
- 10月26日(火):フォーラム「だれも孤立させない地域社会を築くには」参加
- 10月27日(水):野川水量調査参加・居住支援を考える国分寺の会参加
- 11月2日(火):一小・二小放課後子どもプラン室視察
- 11月3日(水):学習会「樹木と生き物とまちづくり」開催
- 11月13日(土):フォーラム「誰もが地域で働き、暮らす〜障害者総合支援法の支援制度の可能性」参加
- 11月19日(金):国分寺市へ予算要望提出/市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 11月22日(月):子育てカフェ「言葉によらないコミュニケーション」開催
- 11月25日(木):放射能測定
- 11月27日(土)国分寺市第20回人権のつどい参加
- 12月7日(火):「野川整備計画の最上流部区間整備の早期実現実施に関する陳情」都に提出参加
- 12月12日(日):講座「子どもたちをデジタル性暴力から守るために」参加
- 12月13日(月):放射能測定
- 12月14日(火):水道局(北町)の太陽光パネル見学
- 12月15日(水):学習会「放射能測定活動の継続の意義」開催
- 12月18日(土):「学校へ行くことがつらいお子様を持つ保護者の懇談会」参加
- 12月19日(日):学習会「辺野古問題と地方自治」参加/国分寺市プレイステーション「第1回どんな駄菓子屋にしたいか子ども会議」視察/市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 12月21日(火):学習会「第4次特別支援教育基本計画パブリックコメントに向けて」開催
- 12月27日(月):遊説・国分寺駅北口/西国分寺北口/国立駅北口・南口

子どもを中心に置く 支援策を

利についての条例が「東京都子ども基本条例」としてようやく制定され、2021年4月1日に施行されましたが、国の法律はまだ進んでいません。

政府は2021年12月に子どもに関する施策の中心を担う新組織としての「こども家庭庁」に関する基本方針を閣議決定し、内閣官房に準備室を設けました。その基本方針には、「こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする」とありますが、議論の過程で当初「こども庁」であった名称が

「こども家庭庁」となっていました。家庭だけでは多様な子育てのあり方を認めることや「こどもをまんなかに」という視点が貫いていけないでしょうか。国会の法案審議に対して提案していく必要があります。

子ども自身の育つ力を信じ、それを阻害しないような社会の在り方や、子どもたちが声をあげ、自ら行動できるようにするとともに、既存の支援の仕組みが子どもの意見を尊重しているかの点検も必要です。子どもは守られるだけ教えられないだけの受け身の存在ではない、権利の主体であるという考え方が社会で当たり前に成り立っていきいます。(小坂まさ代)

◆プレイステーション◆

※プレイリーダーが常駐している子どもたちの無料の遊び場。国分寺市条例に基づき、冒険遊び場の会が指定管理運営している。
住所:国分寺市東戸倉2-28-4
TEL:042-323-8550
定休日:月・日曜日
(毎月第2・第4日曜日を除く)

